

# 就職活動学生向け データベース活用ガイド

## ■はじめに

就職活動の専門的アドバイスは、大学の就職課などへ、第一に相談して下さい。このガイドでは、就職活動において、図書館資料をどのように活用できるかを説明します。

## 目次

1. 就職活動に役立つデータベース紹介
2. 活用法 ①
  - 就活準備に使う
3. 活用法 ②
  - 業界研究・企業研究に使う



# 就職活動に役立つデータベース紹介

## ■1. データベースとは

資料探しに便利なツール。レポート・論文作成はもちろん、就活にも役立ちます。

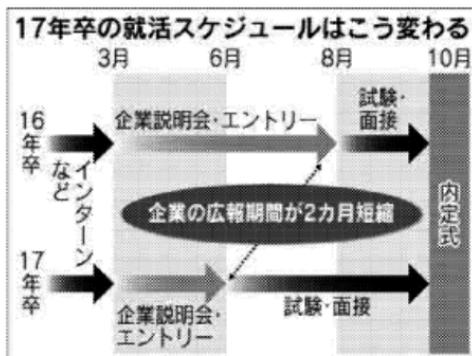
## ■2. どんなときに使うの

たとえば就職活動の日程は、昔からずっと一緒ではありません。日本経団連が定める「採用選考に関する

企業の倫理憲章」見直しにより、16年卒の学生と17年卒の学生とでは、それぞれ採用スケジュールが異なります。こうした事項は、新聞などで得られます。

また就職課より、就活生のマニュアル依存、業界研究不足などを耳にします。就活準備・研究にも、新聞や雑誌などが役立ち、これらを調べるためにデータベースがあります。

## ■3. データベース紹介 (図書館ホームページ > データベース集)



上図 (参考) 2017年3月卒業学生の例

2016/3/1 日本経済新聞朝刊 地方経済面 (長野)

「会社説明会きょう解禁、就活2カ月短く—短い広報期間、  
Uターン就職に逆風。」より引用

データベース	調べられるもの	本文
城西OPAC	城西の蔵書 (各資料、雑誌特集記事)	なし
国立国会図書館サーチ	国会図書館蔵書、雑誌記事など	なし
日経テレコン	日経各紙の記事、企業情報、人事情報など	全部
聞蔵IIビジュアル	朝日新聞などの記事、「知恵蔵」最新版など	全部
日経BP記事検索	「日経ビジネス」など、日経BP社の専門誌	全部
東洋経済DCL	週刊東洋経済、会社四季報、就職四季報など	全部
EDINET	上場、未上場企業の有価証券報告書	全部

青背景は無料 (家からアクセス可)、緑は契約データベース (学内アクセス)。

# 活用法① (就活準備に使う)

## ■ 1. 準備のまえに

就活の話題の前にひとつ。レポートや論文を作成する場合、大事なことがあります。「自分がいまどの(作成)ステップにいるのか」、「次にどのステップに進めばよいのか」を把握・判断できる視点を持つことです。そうして、このような視点は、就活においても言えることかと思えます。

## ■ 2. 就職活動状況を把握する

就活準備のひとつとして、就職に関する社会情勢など把握しておきましょう。2頁例のように、新聞記事も有用です。就職ガイダンスなどで既に把握していても、再確認しておくといいでしょう。

なお、誰もがすぐに得られるウェブ(就活サイト、企業ホームページなどの)情報は、他学生との差がつきにくい情報です。どのような場面においても、より客観的で、積極的にさがして得られる(新聞・雑誌記事などの)情報を活用しましょう。

## ■ 3. 新聞記事を調べる

### データベース「日経テレコン」を使う

「日経テレコン」は日本経済(朝/夕)・日経産業・日経MJ(日経流通)・日経金融(現在休刊)新聞、プレスリリース(報道機関向け発表資料)、日経統計データ、企業・人事情報などを検索・閲覧できるものです。

就活に関する社会情勢を確認する場合、例えば「就職・就活・新卒・採用…」などのキーワードで検索すると良いでしょう。一度検索すると、関連語もピックアップされます。なお記事は、古い情報でないか、発行日付も確認して下さい。

### データベース「聞蔵Ⅱビジュアル」を使う

「聞蔵Ⅱ」も新聞記事データベースで、朝日新聞の検索・閲覧ができます。新聞によって、同じ話題についても視点・意見が変わります。多くの記事を集める意味でも、両方の新聞記事データベースを使ってみましょう。

## 活用法②（業界研究・企業研究に使う）

### ■ 1. 業界研究・企業研究

業界研究では、業界についての理解を深め、自分が働ける／働きたい業界をさがします。

また業界が同じでも、企業が変われば仕事環境は変わります。志望企業は、無論、望むだけでは入社できません。そのための企業研究が必要になります。

### ■ 2. 何を調べるか

	調べる項目	目的
業界研究	その業界がどんな事業を行っているのか。 業界の現状、課題の把握。 業界内に、どんな企業があるのか。	就活の幅を広げる。 業界の知識を深める
企業研究	（志望企業がA社の場合） なぜ同業他社ではなく、A社か。 他社と比べての、A社の違い。 A社で自分が何をしたい／できるか。 ↑志望動機として訊かれる可能性大	志望企業が自分に合っているかの確認 志望動機作成のための調査

### ■ 3. 新聞記事・雑誌記事を調べる

**業界研究** 「日経テレコン」(3、4 頁参照) では、当日記事ならば面ごとに表示できます。1 / 経済 / 企業 / 消費 / 投資・財務面などを確認してみましょう。主要企業(00大手5社…など) 動向の記事があり、日々確認すると、業界の置かれている状況がつかめてきます。過去記事はキーワードなどで検索できます。

また「日経BP 記事検索」(3 頁参照) には、「就活情報を収集する > 業界研究」というメニューがあります。

**企業研究** 上記の日経紙面(「日経テレコン」)、「日経BP 記事検索」の「就活情報を収集する > 企業研究 / 地域経済」メニュー。企業の特徴、業績など掲載した『会社四季報』および、採用実績などの就職情報に特化した『就職四季報』。

企業の財務内容を知るのに役立つ『有価証券報告書』を見られる「EDINET」(いずれも3 頁参照) などが参考になります。

## ■参考文献

日経HR

「就職活動ナビゲーション、2012年度版」  
2010年9月

日本シナプス

「就職の赤本、2012年度版」 2010年8月

日本経済新聞朝刊

「学業専念 就活短く」  
2013年4月16日付 3頁

紀伊國屋書店

「情報の達人 第1巻、図書館へ行こう！  
インターネット時代の情報活用入門」  
「情報の達人 第2巻、ゼミ発表をしよう！  
テーマ選びからプレゼンテーションまで」  
「情報の達人 第3巻、レポート・論文を書こう！  
誰にでも書ける10のステップ」 2007年

※「情報の達人」は全3巻のDVDで、レポート・論文執筆に役立つ情報を分かりやすく解説しています。図書館で所蔵しています。時間のある際にぜひご覧下

さい。

## ■その他紹介

日本経済新聞出版社

「就職活動のすべて」 2007年

※上記は全160分のDVDで、働くこと・プレゼン・グループディスカッション・面接などについてポイントをまとめています。

## 就職活動学生向けデータベース活用ガイド

発行日 2016年6月 第9版

編著者 城西大学水田記念図書館